

株式会社アルベログランデとのシンジケーション方式による 「サステナビリティローン」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、本日、東急不動産株式会社（代表取締役社長：岡田 正志、以下「東急不動産」）と鹿島建設株式会社（代表取締役社長：押味 至一、以下「鹿島建設」）が東京・竹芝地区の再開発事業会社として設立した株式会社アルベログランデ（代表取締役社長：根津 登志之、以下「アルベログランデ」）と、シンジケーション方式によるサステナビリティローン（※1）の契約を締結しました。なお、本サステナビリティローンは、東京ポートシティ竹芝（以下、「本物件（※2）」）を裏付けとするノンリコース形式となっています。

本サステナビリティローンは、「グリーンボンド原則」、「ソーシャルボンド原則」および「サステナビリティボンド・ガイドライン」、「グリーンローン原則」のいずれにも準拠していることを確認するために、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）より、第三者評価を取得しています。

アルベログランデは、所有地を約 70 年間の定期借地により借り受け、本物件の開発・運営を通して国際競争力の高いビジネス拠点の整備および産業振興に加え、防災対応力の強化や環境負荷の低減といったサステナブルな成長の実現に取り組んでいます。また、本再開発計画は国家戦略特別区域計画の特定事業として 2015 年に内閣総理大臣認定を受けています。

〈みずほ〉は、環境保全や SDGs 達成に向けた資金の流れをつくる役割を積極的に果たしていくため、サステナブルファイナンス・環境ファイナンスの目標を設定しています。気候変動対応や脱炭素社会への移行をはじめとしたお客さまの SDGs/ESG への取り組みを積極的にサポートしていきます。

<本契約の概要>

融 資 先：株式会社アルベログランデ

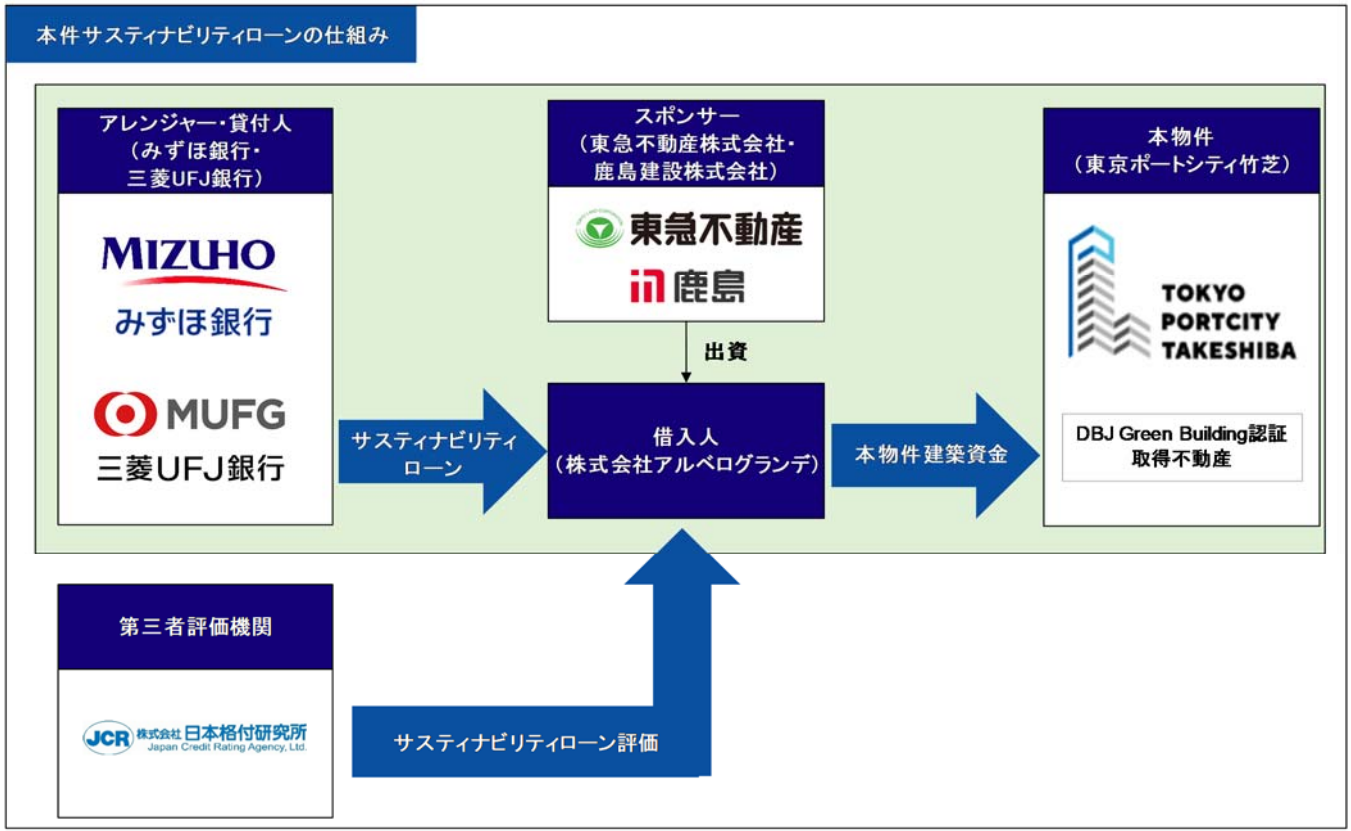
金 額：900 億円

アレンジャー行：株式会社みずほ銀行、株式会社三菱 UFJ 銀行

貸 付 人：株式会社みずほ銀行、株式会社三菱 UFJ 銀行

契約締結日：2020年12月23日

スキーム図：下図参照



(※1) サステナビリティローン
サステナビリティボンド・ガイドラインをローンに準用したもの。グリーンローン原則にも準拠。

(※2) 本物件の概要

物件名称	東京ポートシティ竹芝
所在地	東京都港区海岸一丁目7番地1号 (JR「浜松町」駅から徒歩4分、ゆりかもめ「竹芝」駅から徒歩2分、都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門」駅徒歩5分)
主要用途	事務所、共同住宅、展示場、集会場、飲食店、物販店舗、駐車場等
敷地面積 延床面積	約 15,591㎡ 約201,410㎡
環境認証 (オフィスタワー)	DBJ Green Building認証 5つ星 CASBEE Sランク (自己評価)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時に帰宅困難者を受け入れるスペースの提供の他、3日分約6,300人の防災備蓄の保管や非常時の電源供給等による減災対策を実施。 東急不動産、鹿島建設、ソフトバンク株式会社などの5団体 (※3) が竹芝地区において共同で推進するプロジェクト「Smart City Takeshiba (スマートシティ竹芝)」は、「スマート東京 (※4)」の実現に向けた東京都による公募にて採択。 アルペログランデに対する東急不動産の出資金充当分については、

東急不動産ホールディングス株式会社が本邦初となるサステナビリティ・ボンド形式の公募劣後社債の発行による資金調達で行っており、JCRより「グリーンボンド原則」、「ソーシャルボンド原則」および「サステナビリティボンド・ガイドライン」、「グリーンローン原則」に準拠していることを確認する旨のセカンドパーティオピニオンを取得。



(※3) 5 団体

上記 3 社と一般社団法人竹芝エリアマネジメントおよび一般社団法人 CiP 協議会。

(※4) スマート東京

東京都によるデジタル技術を用いて東京都のポテンシャルを引き出そうという取り組み。

以 上